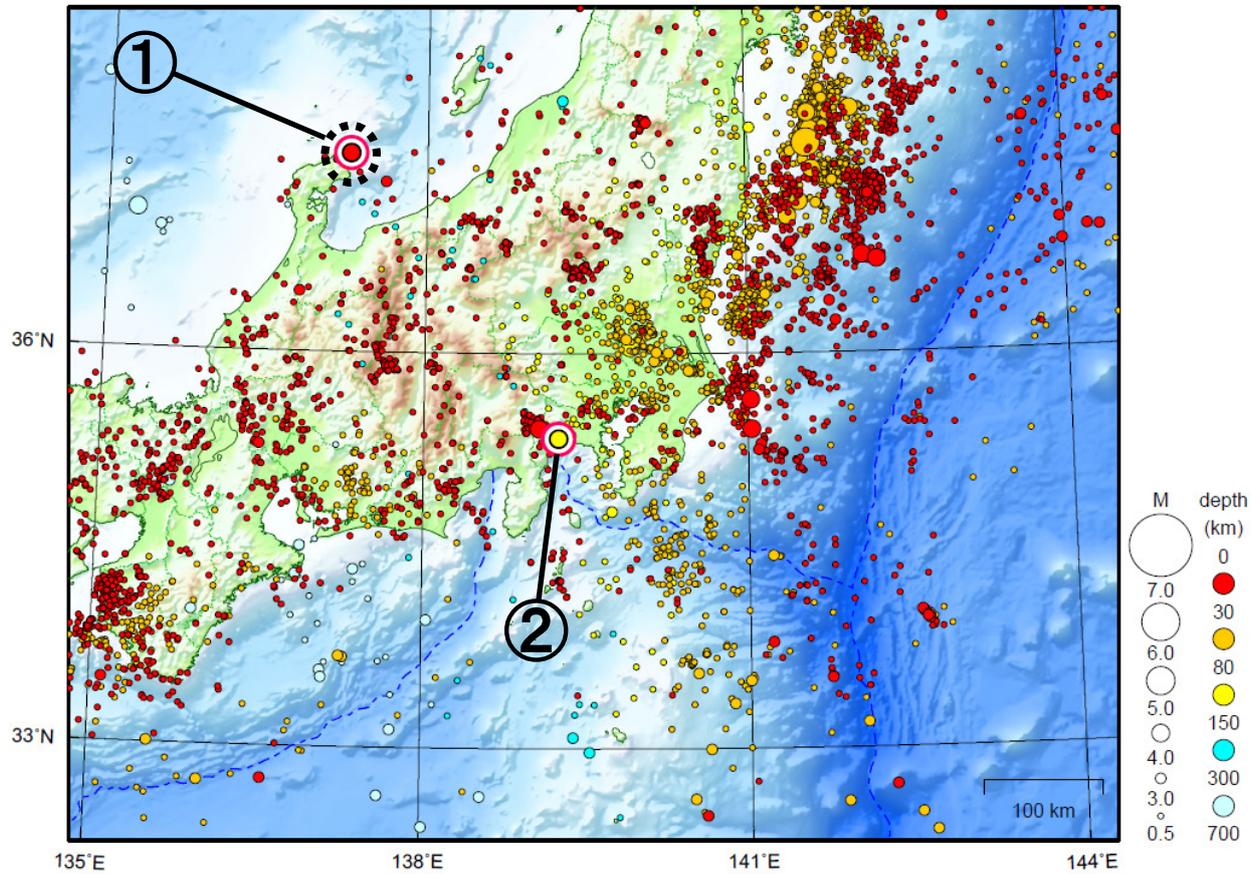


# 関東・中部地方

2023/01/01 00:00 ~ 2023/01/31 24:00

N=7458



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 1月6日に石川県能登地方でM4.5の地震（最大震度4）が発生した。石川県能登地方では1月中に震度1以上を観測した地震が12回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回）発生した。

能登半島沖で発生した地震を1回含む。

- ② 1月29日に神奈川県西部でM4.9の地震（最大震度3）が発生した。

（上記領域外）

1月16日に小笠原諸島西方沖でM5.9の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

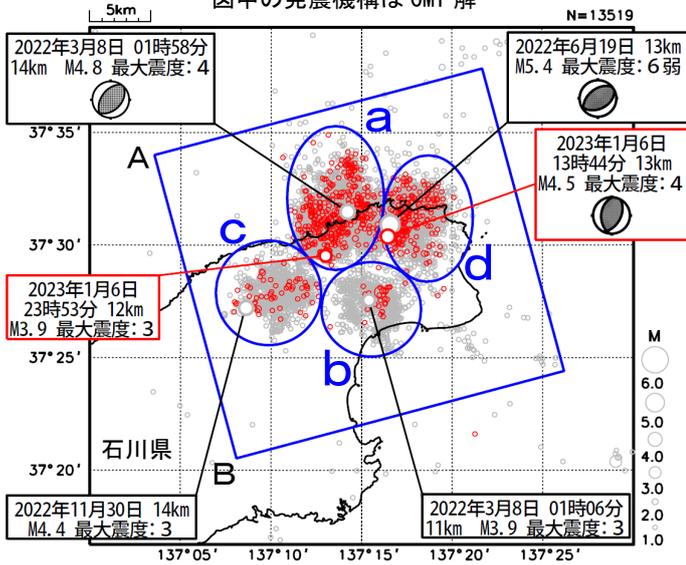
気象庁・文部科学省

# 石川県能登地方の地震活動

震央分布図  
(2020年12月1日～2023年1月31日、  
深さ0～25km、M $\geq$ 1.0)

2023年1月の地震を赤色で表示

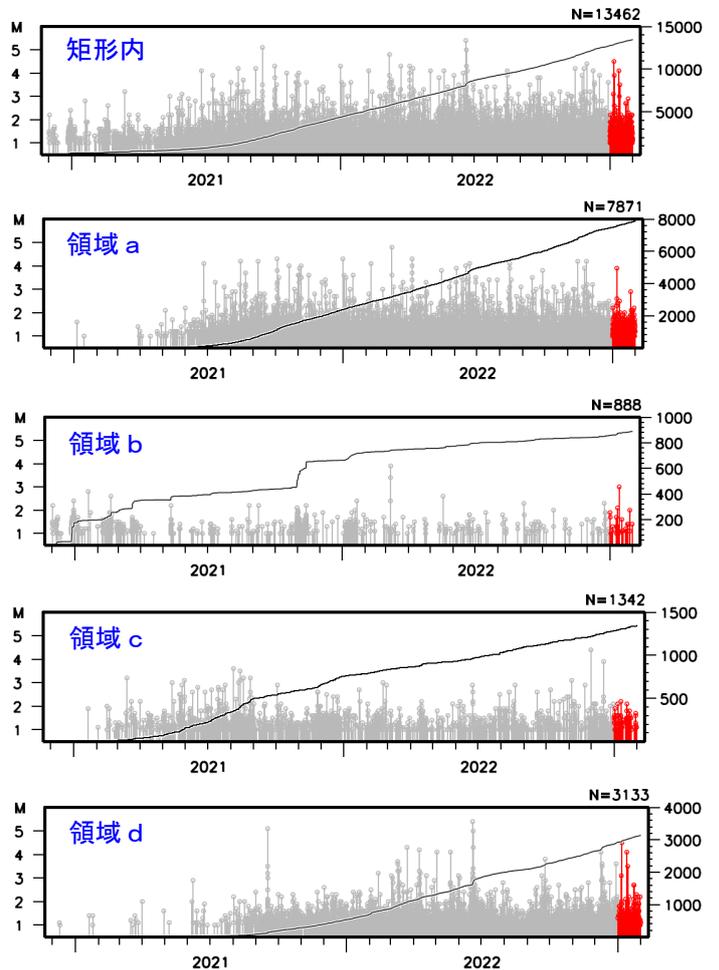
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震
  - ・ 赤色の吹き出し：矩形内で2023年1月中の最大規模の地震及び2023年1月に震度3以上を観測した地震
- 図中の発震機構はCMT解



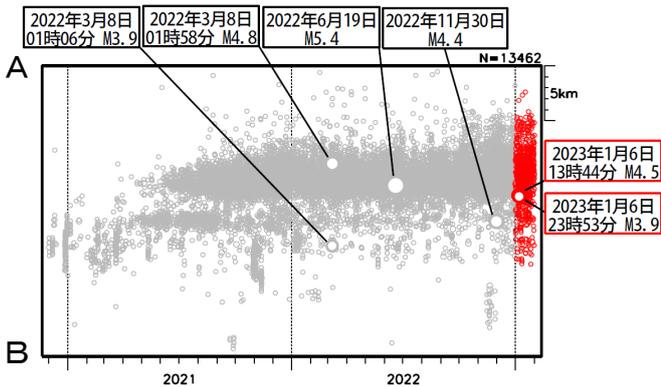
石川県能登地方(矩形内)では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年1月中も活発な状態が継続している。2023年1月中の最大規模の地震は、6日に発生したM4.5の地震(最大震度4)である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震(最大震度6弱)である。

矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は期間別・震度別の地震発生回数表のとおり。

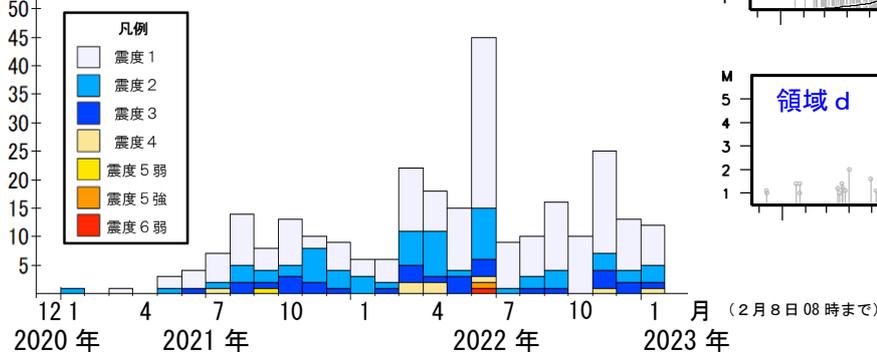
左図矩形内及び領域a～d内の  
M-T図及び回数積算図  
(2020年12月1日～2023年1月31日)



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数  
(2020年12月1日～2023年2月8日08時)



期間別・震度別の地震発生回数表

期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2022年12月31日	169	58	28	7	1	1	1	265
2023年1月1日～31日	7	3	1	1	0	0	0	12
2023年2月1日～8日08時	0	0	0	0	0	0	0	0
計	176	61	29	8	1	1	1	277

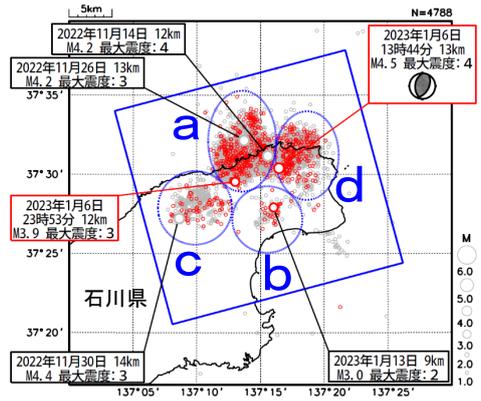
# 石川県能登地方の地震活動（最近の活動）

## 震央分布図

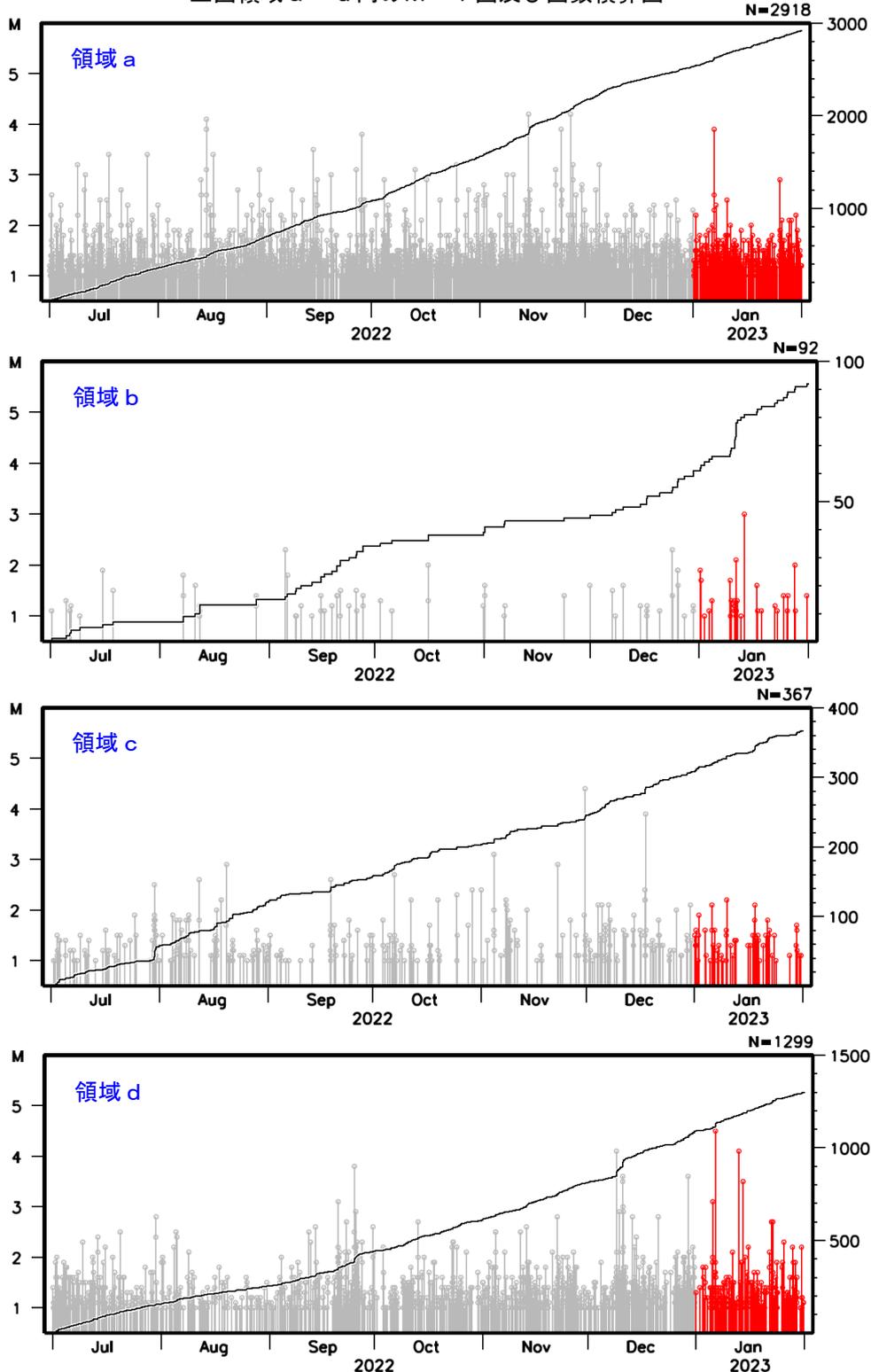
(2022年7月1日～2023年1月31日、  
深さ0～25km、 $M \geq 1.0$ )

2023年1月の地震を赤色で表示

- ・ 黒色の吹き出し：各領域内で期間内の最大規模の地震
  - ・ 赤色の吹き出し：矩形内で2023年1月中の最大規模の地震、及び2023年1月に震度3以上を観測した地震
- 図中の発震機構はCMT解



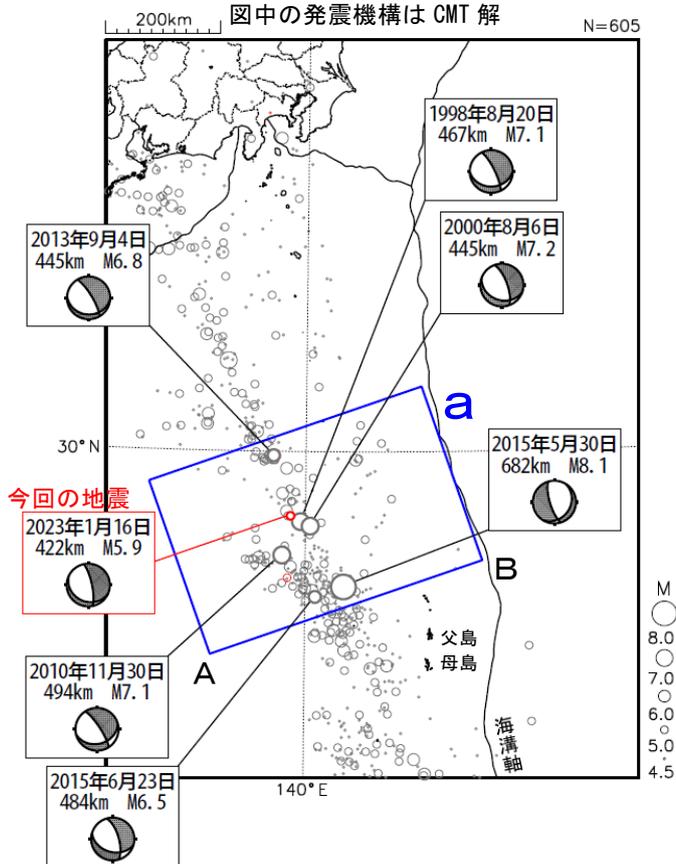
上図領域 a～d 内の M-T 図及び回数積算図



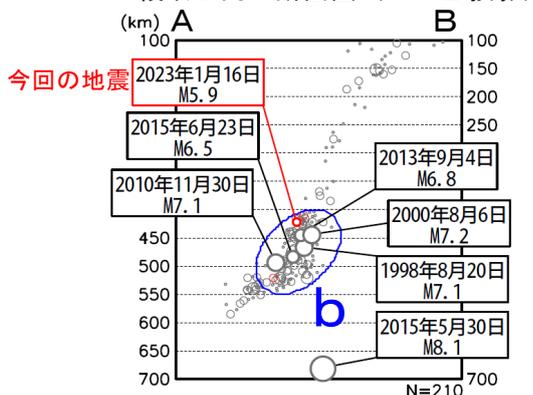
# 1月16日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

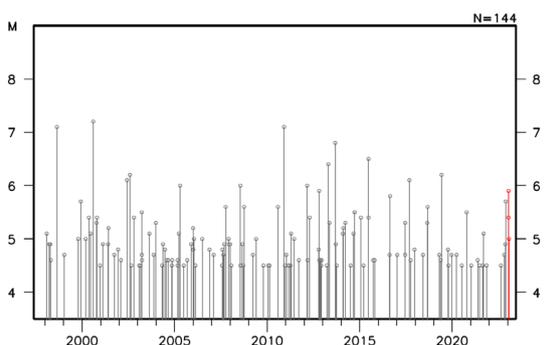
(1997年10月1日～2023年1月31日、  
深さ100～700km、 $M \geq 4.5$ )  
2023年1月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



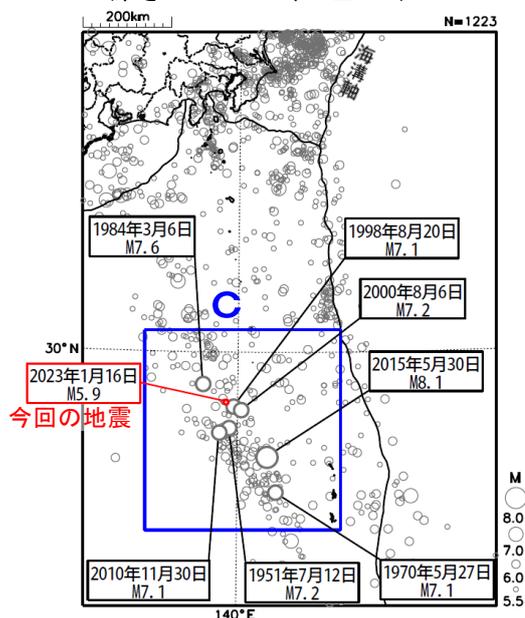
2023年1月16日13時49分に小笠原諸島西方沖の深さ422kmでM5.9の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震源から約250km深いところでは、2015年5月30日にM8.1の地震(最大震度5強)が発生し、軽傷8人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

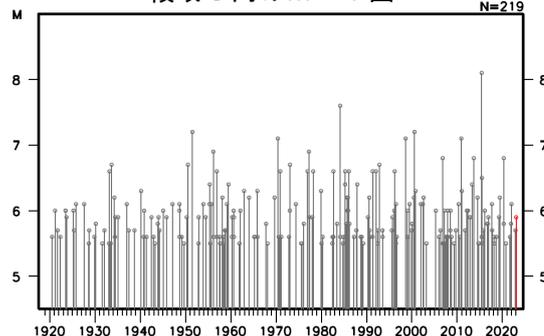
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1984年3月6日にはM7.6の地震が発生し、死者1人、負傷者1人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2023年1月31日、  
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$ )

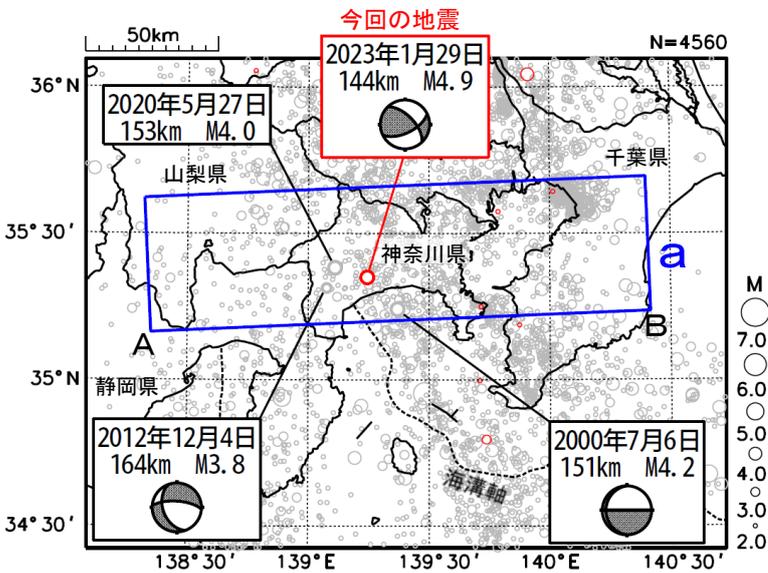


領域c内のM-T図



# 1月29日 神奈川県西部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2023年1月31日、  
深さ70～250km、 $M \geq 2.0$ )  
2023年1月の地震を赤色で表示

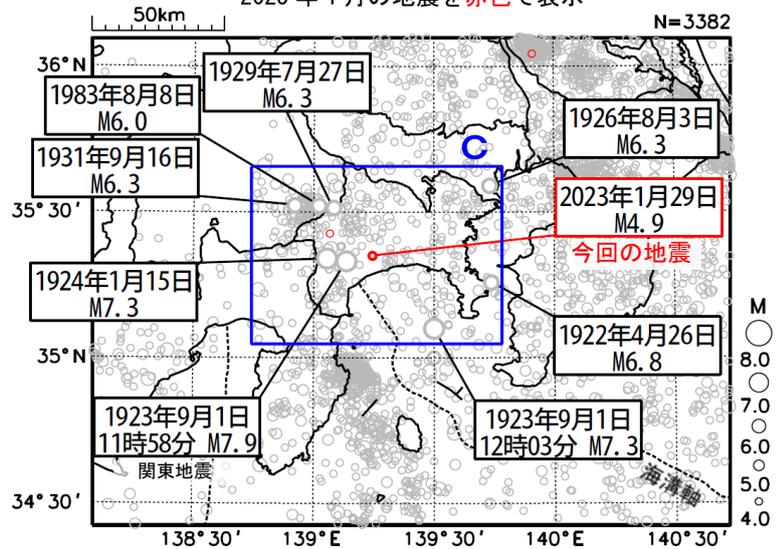


2023年1月29日21時19分に神奈川県西部の深さ144kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構は、太平洋プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

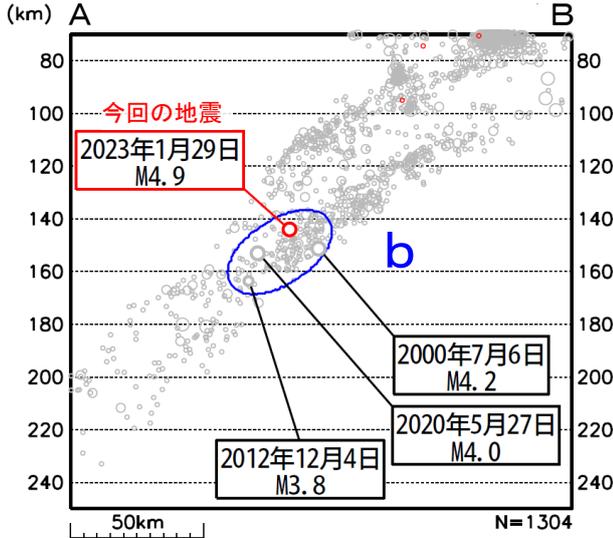
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4程度の地震が数回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、関東地震の発生後に10年程度地震活動が活発であった。それ以降では、1983年8月8日のM6.0の地震以外にM6.0以上の地震は発生していない。

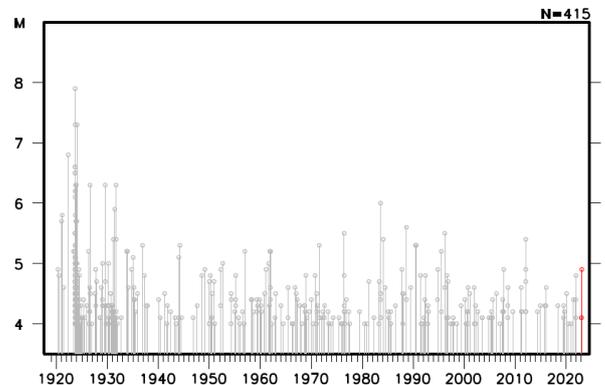
震央分布図  
(1919年1月1日～2023年1月31日、  
深さ0～300km、 $M \geq 4.0$ )  
2023年1月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域c内のM-T図



領域b内のM-T図及び回数積算図

